

平成27年度 京都府入札制度等検討委員会（第1回） 議事概要

開催日時及び場所	平成27年8月26日（水） 午後3時00分～4時35分 ザ・パレスサイドホテル 2階 レガート	
出席委員氏名（職業）	委員長 <small>くすのき</small> 楠 <small>しげき</small> 茂樹（上智大学法科大学院教授） 委員 <small>おきた</small> 沖田 <small>やすひこ</small> 康彦（京都府商工会連合会会長） 委員 <small>せきね</small> 関根 <small>えいじ</small> 英爾（ジャーナリスト（元京都新聞論説委員）） 委員 <small>やました</small> 山下 <small>のぶこ</small> 信子（弁護士）	
議 事 概 要	1 開会 [あいさつ（辻村総務部副部長）] 2 議事 （1）平成26年度入札契約制度等の見直し概要について （2）「発注関係事務の運用に関する指針」への対応状況について （3）その他 ◇平成26年度の入札契約制度の見直し概要や、平均落札率・平均入札参加者数等の入札状況等の報告し、委員から意見を聴取した。 ◇発注者共通の指針として国において取りまとめられた「発注関係事務の運用に関する指針」への府の対応状況について、委員から意見を聴取した。 ◇各委員から出された意見を踏まえ、入札制度の的確な運用に努めるとともに、今後とも継続して、入札制度の運用状況等について検証を行うこととした。	
委員からの意見・質問とそれに対する回答等	意見・質問	回 答 等
	別紙のとおり	別紙のとおり

別 紙

2 議事

(1) 平成26年度入札契約制度等の見直し概要について

意見・質問	回 答 等
◇平成26年度の平均落札率は、事前公表に比べて事後公表の方が低いですが、どのように分析しているのか。	◇事前公表の工事の内訳を見ると、上下水道プラント設備の機械設備工事、電気設備工事など、府外業者に参入を認める工事が多く、この結果、平均参加者数自体が少ないことから平均落札率が高くなったと考えている。
◇平均参加者数について、平成25年度は事前公表が多く事後公表は少ないのに対し、平成26年度は事前公表が少なく事後公表が多いというように逆転しているが、この原因をどのように考えているのか。	◇平成25年度の事後公表は、総合評価方式の一部で行い、平成26年度に対象範囲を拡大している。このため、平成25年度に事前公表であった母集団が、平成26年度の事後公表に移ったものと考えている。
◇測量等設計業務の落札率分布について、80%後半から90%前半にかけて急激に上昇しているのはどのような理由か。	◇測量等業務委託については、測量、地質調査、建設コンサルタントなどの様々な業務内容が行われていることから、それぞれの内容や規模等を見ながら、分析してまいりたい。
◇事後公表を徐々に拡大していくことで、積算・施工能力のない業者を排除し、健全な業者を育成していくという、当初の目的を達成する方向で進んでいるのか。	◇事後公表については、現在、積算能力、施工能力を有する業者を対象として実施しており、土木一式工事ではI等級以上を対象としている。このため、平均落札率も事前公表と事後公表を比較すると、大きく変化していない状況にある。今後も、しっかりと入札状況を分析してまいりたい。
◇事後公表は今後、拡大する方向なのか。企業側はそれに対して、どのように受け止めているのか。	◇事後公表については、平成27年度から建築一式の一部を除き、4,500万円以上の工事で適用している。コンプライアンス対策にしっかりと取り組んだ上で、現場の声、業者の声をしっかりと聞きながら

<p>◇平成26年度の失格発生率は67.4%だが、具体的にどのような内容か。</p> <p>◇フレックス工期による契約方式について、対象工事の拡大とは具体的にどのようなことか。</p> <p>◇公契約大綱に基づく取組については、社会情勢に応じて、柔軟かつ迅速に見直すこととされているので、今後とも、入札状況等に係るデータを収集・分析し、取組の成果や課題について検証を行った上で、必要な見直しを実施していただきたい。</p>	<p>方向性を検討したい。</p> <p>◇失格発生率は、最低制限価格より低い金額で1者以上が応札した工事の比率である。事後公表は、予定価格が事後に公表される関係上、自らが積算をして入札することから、事前公表に比べて、失格発生者が多くなったと考えている。逆に言えば、一定水準の積算能力のない未熟な業者を排除する結果になったとも考えられる。</p> <p>◇フレックス工期については、これまで年度末の工事を対象としていた。河川区域内の工事については、出水期である6/16～10/15には工事ができず、着手時期に制限がかかることから、昨年度フレックス工期の対象とした。これ以外にも、農繁期により着手時期に制限がかかる工事や、府議会の議決を要する5億円以上の工事等についても、フレックス工期を採用し、工事着手時期を選べるようにした。</p>
---	---

(2)「発注関係事務の運用に関する指針」への対応状況について

意見・質問	回答等
◇京都府の設計労務単価は、どのくらいの水準なのか。	◇今年の単価は、普通作業員が16,700円である。
◇設計単価は額面だけを見ると、最低賃	◇ご指摘のとおり、担い手確保と言いなが

金より高い額になっているが、実際の日給を労働者の働いている時間で割ると、非常に低い額になっている。よく、担い手確保という言葉聞くが、そのような額では、魅力的な産業とはいえ、新卒の学生などがこの業界に入りたいと希望してくるか疑問。発注者側として、魅力のある産業になるために工夫していることはあるのか。

◇天候不順などの直接的な問題だけではなく、身分保障の問題であるとか、瑕疵がある工事が発生した時に、誰が負担するのか、というような問題もある。一人親方の実態はどうなっているのか。

◇京都府において、一人親方的な人は公共工事には入ってこないのか。

◇重層下請の禁止の例外は、昨年度実績でどのくらいあったのか。

◇結局、3次が一人親方に外注に出すということはないという認識で良いのか。

◇実態としてどのくらい一人親方はいるのか。

◇実施に努める事項として挙げられている「見積の活用」とは、見積をもう1

ら、若い方が入ってくるケースは少ない。また、建設業界に話を聞くと、建設業界の平均年収が約400万円であり、全産業の約75%の水準である。全産業並みの水準は確保していきたいが、この業界は天候などにも左右されやすく、日給月給により支給されていることもあり、効果的な対策は講じにくい。

◇公契約大綱では、土木工事の下請は2次までとし、それを越える重層下請の禁止を定めているため、一人親方が下請として入る状況は極めて少ないと認識している。

◇公共工事の下請に入る場合は、建設業法で書面による契約を求めているほか、4月以降はすべての建設工事で施工体制台帳の提出を義務付けており、相応の経営力がある方でないと、下請けとして入ることは難しい。

◇昨年度の工事で1件である。

◇建設工事として下請契約をすることについては建築一式工事以外であれば2次までとしている。下請するには、下請契約を契約書で結ぶ必要がある。

◇実態は把握していない。一人親方に関するデータ自体が存在するのも調べてみないとわからないが、公共工事にはあまり参入されていないと認識している。

◇積算については、標準的な施工条件の下で、全国的に統一した基準に基づいて実

回やり直すということか。

◇完成後一定期間を経過した後における施工状況の確認について、建築基準法上の完了検査の後で行うのか。また、どのくらいの期間を空けて行うのか。

◇民法上では、瑕疵の期間は5年、10年とあるが、そういう長いスパンで検査を考えているのか。

◇発注者間の連携体制についてであるが、発注者間だけではなく、受注者間でも調整をやっていかないといけないと思うので、京都府においても是非徹底してやっていただきたい。

◇発注関係事務の運用に関する指針への対応状況について、概ね府の対応状況に問題はないと思われる。今後とも、国における議論や入札の動向などを踏まえた対応を行うとともに、今後新たに対応を要する事項についても、適切な対応をされたい。

施しているが、施工条件が厳しい工事で不調不落が発生した場合は、見積を取り、実態を反映して積算するというものである。

◇建築基準法上の完了検査の後で行うものである。期間については現在、国で議論をしている段階である。

◇土木工事については、性能保証という規程はあるが、長期間の品質保証という発想はない。建造物と違い、段階ごとに工事を発注して、その都度、引き渡しを受けるので、これが何年適正に保たればよいのかというようなことは、議論の対象にはなっておらず、法的な整備もできていない。

(3) その他

意見・質問	回答等
◇現在、建設業は人手不足の状況にある	◇外国人労働者については、2020年東京オ

が、正規で入ってきている外国人労働者の受け入れについてどのように考えているのか。

◇京都府におかれては、各委員から出された意見を踏まえて、入札契約制度の更なる改善に向けて取り組んでいただきたい。

オリンピック開会までの時限措置として、去年に実務研修生について約35,000人に受け入れを拡大するとされている。一方で、公共工事において、人身事故などが発生すると指名停止措置があることや、建設現場において外国人労働者が働くには、コミュニケーションの問題もあり、積極的に活用する京都府内の企業は今のところない。